

2025年7月23日

報道関係各位

CDP2024「サプライヤーエンゲージメント評価」にて最高評価を獲得 ～「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」への選定は当社グループ初～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、環境情報開示における国際的な非営利団体である CDP が実施する「サプライヤーエンゲージメント評価」で、最高ランクとなる「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定されたことをお知らせいたします。また、「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」への選定は、当社グループにとって初となります。



■「サプライヤーエンゲージメント評価」について

CDP が実施しているサプライヤーエンゲージメント評価は、企業が気候変動課題に対してサプライヤーと効果的に協働しているかを評価するものです。具体的には、CDP 質問書のうち、気候変動セクションの「リスク管理プロセス」「ガバナンスと事業戦略」「サプライヤーエンゲージメント」「Scope3 排出量」「目標」が評価対象となります。

当社グループといたしましては、ツムラ生薬 GACP^{※1}に基づくサプライヤーとの連携体制や、TNFD /TCFD の統合的な開示体制等が評価されたと捉えております。なお、当社グループは2025年2月に発表された CDP2024 の「気候変動」「水セキュリティ」においても最高評価となる「A」評価を獲得しております。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部 広報課 担当：瀬戸、吉崎

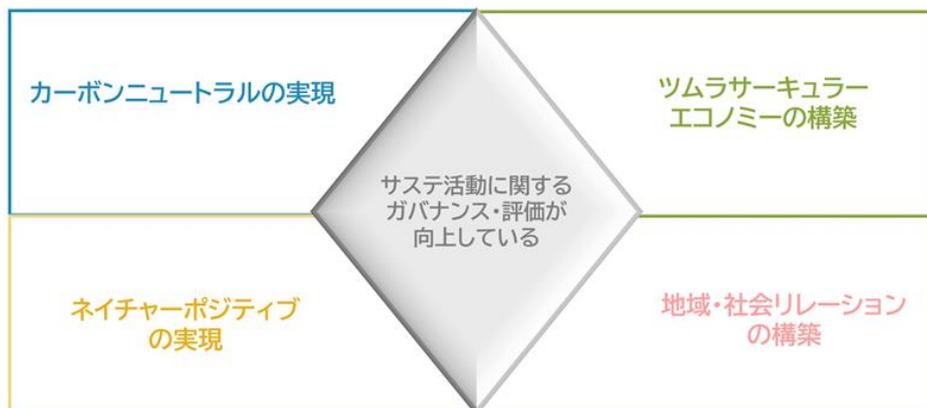
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

※1 ツムラ生薬 GACP : GACP は、Good Agricultural and Collection Practice の略で、WHO などが制定した薬用植物の優良農業規範であり、栽培から出荷まで詳細に規定されております。当社では、こちらを基に「ツムラ生薬 GACP」として日本漢方生薬製剤協会（以下、日漢協）が取りまとめた日漢協版 GACP や中国の規範を参考にし、独自に定めております。

■当社グループのサステナビリティに関する取り組みについて※²

当社グループでは、今年度より開始した第2期中期経営計画期間（2025～2027 年度）と連動して、新たに「サステナビリティ・ターゲット 2027」を策定いたしました。サステナビリティ区分として「カーボンニュートラルの実現」「ネイチャーポジティブの実現」「ツムラサーキュラーエコノミーの構築」「地域・社会リレーションの構築」の4つの観点からサステナビリティ活動を捉え、その活動全体において、ガバナンス・評価を向上させることを戦略とし、GHG 排出量の削減、プラスチック包装の新素材化・生薬残渣利活用の検討、野生生薬の栽培化、生薬産地での自然保護や教育活動等、各種取り組みを推進しております。

※2 当社グループのサステナビリティ活動について : <https://www.tsumura.co.jp/sustainability/>



■CDP※³ について

CDP は、運用資産総額 142 兆米ドルを超える資産を持つ 700 以上の金融機関と協働し、企業や自治体に対して環境情報の開示・管理を促している国際的な非営利団体です。2000 年の設立以来、資本市場と企業の購買力を活用することで、企業による環境影響の開示や、温室効果ガスの削減、水資源や森林の保護などを促進する取り組みを先導しております。2024 年には、世界の時価総額の 66%以上に相当する 24,800 社以上を対象に調査が行われ、そのうち日本の企業は、プライム市場上場企業の 7 割以上を含む 2,100 社以上が CDP を通じて情報開示を行っております。

※3 CDP について : <https://www.cdp.net/ja>

漢方薬の製造・販売を行う当社グループの事業は、自然の恵みである生薬の栽培から始まる「漢方バリューチェーン」によって構成されており、自然環境と深い関わりがあります。今後も「自然と生きる力を、未来へ。」というサステナビリティビジョンのもと、漢方バリューチェーンを通じて持続可能な人間・社会・地球環境を実現するとともに、人々の健康と医療に貢献し続けられるよう、気候変動対策、水資源保護をはじめとするさまざまな取り組みを進めてまいります。

以上